

ニュース し de と 知っ解く

しょうがっこうてい がくねん
小学校低学年

Q1 ○にひらがなを入れましょう。

○○をつか ぼこう たいけん
を使った歩行を体験

Q2 くるま 車を押す人が気をつけること
はどんなことですか。

Q3 □に漢字を入れましょう。
□□や認知症 などに関する
講話もあった。

Q4 □に漢字、○にかなを入れましょう。
堤田さんは「□○○は思っていた
よりも不安で怖かった。○○○○
○○○○でも大変さが良く分かつた」と話しています。

難しい漢字と言葉

視覚障害者…病気やけがなどが原因で、目が見えなかったり、見えにく

かったりしている人。

手話…両手の動きや指文字で自分の意思を表現する方法。

認知症…脳の病気のひとつ。時間や

日にち、場所や人が分からなくなる、大事なことを忘れる、元気がなくなる、怒り出すなどの症状が出て生活に支障が出る。

障害ある暮らし学ぶ 水俣二小児童ら



芦北高福祉科の生徒（右）からアドバイスを受けながら車いすを体験する水俣二小の児童ら＝2月21日、芦北町

水俣市の水俣二小の4年生約50人が2月21日、芦北町の芦北高で、車いすや視覚障害者らがプレーするフラインドサッカーを体験し福祉について学んだ。両校が互いに連携を深める目的で水俣二小が初めて企画。芦北高福祉科の1年生14人が講師役を務めた。

この日、児童らはグループごとに分かれ、車いすやフラインドサッカー、つえを使った歩行を体験。生徒らは「車いすを押す人は、乗っている人が不安にならないようスピードを出し過ぎないように」と呼びかけた。手話や認知症などに関する講話もあった。同小の堤田聖那さんは「車いすは思っていたよりも不安で怖かった。フラインドサッカーでも大変さが良く分かつた」と話していた。（上野史央里）

2024年2月26日付
記事・写真を再構成しました